

令和2年度 第1回 こども・子育て支援会議 放課後事業部会 会議録

- 1 日 時 令和3年3月24日（水）10：00～11：20
- 2 場 所 大阪市役所本庁舎2階 201会議室
- 3 出席者
- （委員） 岡田委員、倉光委員、中山委員、名城委員、大野委員※、藤田委員、
中谷委員※
- ※ウェブ会議の方法による参加
- （本市） 平田こども青少年局青少年企画部長
椿谷こども青少年局企画部青少年課長
吉田こども青少年局企画部放課後事業担当課長 他

4 議題

- （1） 大阪市こども・子育て支援計画（第1期）の取組状況について
- （2） 児童いきいき放課後事業及び留守家庭児童対策事業の取組状況について
- （3） 令和3年度当初予算案について
- （4） 医療的ケアを必要とする児童の放課後の過ごし方について
- （5） その他

5 議事概要

上記4の議題について、事務局より報告・説明を行い、質疑応答及び意見交換を行った。

【主な意見】

- （1） 大阪市こども・子育て支援計画（第1期）の取組状況について

（岡田部会長）

はぐくみ指標の達成状況も増加しているとご報告いただきました。ただ、全国と比べると低いところもあるということですね。「将来の夢や目標を持っている」と答える子どもの割合は、平成31年度はちょっと減っているんですか。

（事務局）

ここは、全国的にも下がっているところです。

- （2） 児童いきいき放課後事業及び留守家庭児童対策事業の取組状況について

（岡田部会長）

今年度コロナのことで大変だったなか、いきいきと放課後児童クラブが大変ご協力いただいたというご発言ありましたように、子どもたちの居場所として活動いただいたということでございました。この1年を振り返って、お気づきになったことをお願いします。

（名城委員）

今年度はコロナに始まり、今も継続中ということでやっております。留守家庭児童対策事業ということで、保護者の就労保障という観点からも開所しておりまして、大阪市のほうか

らも補助金を頂いて大変助かっています。それをもとにいろんな対策をとっていたのですが、うちのほうでも先日、残念ながら陽性者が出まして、同じお部屋の中ではマスクをしていますが、ご飯のときに離れていても濃厚接触者になるということで、どういう活動をするところまで濃厚接触者となるかなど情報提供があれば、有効な対策がとれたのではないかと思います。感染拡大防止と保護者の就労保障の関係で悩んでいます。

(事務局)

幸い放課後児童クラブは、そんなにたくさんの事例が積み重なっておりません。その都度ご連絡いただいて対応させていただいております。

基本的には三密を避けていただき、できるだけ消毒していただき、共有の遊び道具を極力使わないようにするなどの取り組みを進めていただければと思いますが、これという決め手はない状況です。現在、気になるのは、変異型が海外の情報では子どもにもかかりやすいという情報もありますので、引き続き気を付けていただければと思います。

(名城委員)

どうしても子どもですので、分散して遊ぶと言ってもなかなか難しい状況でして、子どもですので頭を突き合わせて遊んでいる状況でして。

(倉光委員)

現実問題、小学校1年、2年の子どもたちは、密を避けると言っても、口すっぱく言ってもくつつきながら「分かった」と言う状況です。学校の現状を詳しくお伺いしたいと思います。

(中谷委員)

1 人の濃厚接触者が出たからと言って、学級休業にすることはありません。保護者が陽性者となり、児童が濃厚接触者になるケースが本校でもありますし、大阪市全体でもあります。疫学調査の考え方が発症した日から前2日の様子を調べるということです。

(岡田部会長)

文科省や厚労省によると、学校から地域に広がるという例はあまりなくて、家庭から学校に持ち込まれるケースが多いそうです。

(中山委員)

区長によって、対応がバラバラであって地域活動でも対応が違うが、小学校については区長がどういう権限を持っているのか。

(事務局)

区長は、区の担当教育次長ということです。学校サイドのことは学校長の権限があり、学校運営に関しては学校長の権限のなかで判断します。

(中谷委員)

学校については、校医の先生のご意見もうかがって判断しています。

(岡田部会長)

学校も各放課後児童クラブも、感染防止に関してできることを精一杯やっただけだと思います。もし事象が出た場合に、学校と放課後児童クラブの連携が重要になってきます。状況に応じて対応せざるを得ないということになりますね。

(事務局)

いきいきのほうでは、日々学校と連携しながら、濃厚接触者が出たとか陽性者が出たなど連携しております。コロナによる休校措置の場合は、学校にご協力いただきながら学校から保護者にメールで休校と合わせていきいきも休止になりますなどの連絡をしていただき、対応しております。

(中谷委員)

保護者の方もきっちりしておられて、最近も「熱があるので休ませたほうがいいですか」と電話も頂いて「無理をさせないでください」と対応しています。

(藤田委員)

民生委員の仕事をされていて、もっと早く検査ができれば迷惑かけなくてすむので、素早く検査ができるような形になったらと思います。

(倉光委員)

先日、学童保育の保護者会をやりました。保護者会のみなさんは、勤務先が多様で仕事を休めない方もいらっしゃるので、そのときの提案は保護者同士が最低3人のグループをつくって助け合おうと話しました。地域のつながりが希薄になっているので、地域がもっとつながることができるように行政主導でやっていただければと思います。

(岡田部会長)

このコロナの状況はもう少し続くと思いますので、もう一度地域を見直すというところまで話さないといけないのかもしれませんが、また一方で、コロナ差別を解消しながらやっていく必要もあります。

(3) 令和3年度当初予算案について

(岡田部会長)

予算について、令和2年度から令和3年度にかけて予算は増加しております。世の中は少子化で子どもが減っていくなかで、このようにいきいきや予算が上げられているのはどういうふうに考えたらよろしいですか。

(事務局)

今回は、新型コロナウイルス感染症対策ということで予算化もしております。いきいきでは、密を避けるために新たな活動室の確保をしていきたいと考えております。もちろん学校のご協力を得ながら進め、活動室が分かれますと指導員が必要となってくるので、その人件費も予算化しております。

留守家庭児童対策事業については、国の補助金の基準が上がってきておりますので、それに伴い大阪市も確保していこうと進めています。

(4) 医療的ケアを必要とする児童の放課後の過ごし方について

(岡田部会長)

小学校段階で、現場で医療的ケアを必要とする児童が実際にいらしたというケースはありますでしょうか。

(中谷委員)

うちには、投薬が必要な児童はいるのですが、胃ろうとかそういう医療的ケアが必要な児童は在籍していません。

(倉光委員)

過去には、うちのほうでもいましたが、なかなか看護師が雇用できない。よっぽどでないと放課後だけ看護師が来るというのは難しい。そういう現状がございます。うちの場合は幸い近くに放課後デイがあるので、その職員と連携して対応していたが、人材はなかなか集まらないです。

(岡田部会長)

国家資格である看護師資格を持っていて、今はお仕事をされていないという方がいらっしゃいます。そういう潜在的な看護師を地域の中でどう活用していくかが課題なのかもしれません。

(事務局)

看護師さんの個々の生活の状況にもよりますが、三交代がしんどい方が日勤がいいという方も中にはいらっしゃいます。また、中には午後の時間帯だけだったら行けるといいう方もいらっしゃいます。

いきいきにしても放課後児童クラブにしても、放課後の時間帯だけの看護師の確保をどのようにしていくかが課題だと思っております。

(岡田部会長)

アンケートでどういうご要望が出てくるのかを踏まえて、今後の可能性を考えていただければと思います。